

長野県飯田市

課題

A環境分野: 地域クリーンエネルギーの域産域消モデル
地域のエネルギー利用の低炭素化を進めるために、地域の新たなエネルギー需給システムを構築すること。

B環境分野: 都市計画・まちづくりや交通移動手段を関連づけた炭素なまちづくりビジョン
低炭素なまちづくりの推進。
・都市計画、まちづくり全般(産業振興、市街地づくり等)
・移動手段(通勤における公共交通)

C大学連携分野
4年制大学を有しないことによる、地域社会の人材不足や活力の低下。

実現を目指していく地域のイメージ

- 基礎自治体が地域政策の立案主体
- 市民・事業者等 多様な主体との協働により総合的な地域づくり・まちづくり
- 地域を経営するという視点、地域特性を生かした地域産業政策
- 資源・人材の「統合的なアプローチ」による相乗効果を創出
- 地方都市の山・里・街に息づく固有の文化・暮らしをしっかりと守る(定住)
- 地域特性を生かした様々な分野における地域発のビジネスモデルを創出(自立)

↓

- ◎多様性に富んだ地域の魅力は磨かれ、住民や地域の自主性がいっそう高まり、
- ◎これらがアイデンティティとして確立し、持続可能な地域社会を形成。

調査事業の概要

A環境分野: 地域クリーンエネルギーの域産域消モデル
環境関連の取組の有機的連携と多様な主体との協働による、地域のクリーンエネルギーを最大限活用できる需給構造への改革。これにより民間活力を引き出し、新たなビジネスモデルを創出する。
地域の特性を活かしたエネルギー需給のあり方について、分析調査を行い、ランドデザインを検討する。

B環境分野: 都市計画・まちづくりや交通移動手段を関連づけた低炭素なまちづくりビジョン
低炭素なまちづくりを進めていくための研究会の開催。
通勤手段の低炭素化に関する調査。

C大学連携分野
当市と各大学同士の複合的な関係づくり(当市を含む大学コンソーシアム)について、これまでの積み上げを生かした新たな取組へと進展させるため、当市を拠点とした大学同士の連携方策について研究する。そのために、市及び大学関係者等により、大学連携(専門的な知見)と地域人材・地域資源の融合した「知の集積」モデルの可能性について調査・検討する。

対応策の提示

＜これまでのノウハウ、対応策＞

A環境分野: 地域クリーンエネルギーの域産域消モデル
市民出資による太陽光発電システムの設置や木質バイオマスエネルギーの地産地消など、地域でのクリーンエネルギーの利活用政策に取り組んできた。

B環境分野: 都市計画・まちづくりや交通移動手段を関連づけた炭素なまちづくりビジョン
中心市街地の再開発等を通じて、都市的機能の集約化やまちづくりを担う事業者の創出をしてきた。中心市街地に低炭素モデル住宅を建設した。南信州地域公共交通システムを構築し、JR・路線バス・デマンド型乗合タクシーの組み合わせによる実証運行を実施した。

C大学連携分野
南信州フィールドスタディー等により、約20大学との関係づくりを行ってきた。

＜調査事業によりとりまとめたノウハウ、対応策＞

A環境分野: 地域クリーンエネルギーの域産域消モデル
(1)新たな公共の性格を持つ、地域におけるクリーンエネルギー事業化のためのコーディネート組織体の概要、機能に関する仮説の構築。
(2)ファイナンスのあり方とそれに関連するリスクヘッジについての整理。
(3)政策的支援措置についての整理。

B環境分野: 都市計画・まちづくりや交通移動手段を関連づけた炭素なまちづくりビジョン
(1)エコバイクを中心とした技術的な検討と、地域貢献の可能性について行政、産業サイドにおける共通認識。
(2)パーク&ライド実験による利用者の意識把握と、推進する上での課題の整理。

C大学連携分野
新大学連携組織「学輪IIA」の発足。21世紀型大学機能設置に向け、プロジェクト会議での検討開始。

＜今回の調査により得られた新たな課題＞

A環境分野: 地域クリーンエネルギーの域産域消モデル
(1)コーディネート組織体の概要、機能に関する仮説の詳細な検証の必要性。
(2)資金の再配分に関する詳細な検討の必要性。
(3)ファイナンスの手法に関する具体的な検討の必要性。
(4)事業を行う際にバリアとなっている法的規制緩和の詳細な検討の必要性。

B環境分野: 都市計画・まちづくりや交通移動手段を関連づけた炭素なまちづくりビジョン
(1)EV化を前提とした交通手段と技術要素の概要が集約されたことによる、地場産業を中心とした「ものづくり」に反映できる可能性の模索。
(2)ノーマイカデーやマイカー通勤規制(エコ通勤)へのパーク&ライド導入の可能性把握による、交通移動手段の低炭素化。

C大学連携分野
プロジェクト会議で提案された内容の可能性調査及び具現化に向けた取り組み。

